

神奈川東海道 9宿フォトめぐり

御宿場印を集めながら9宿を回ろう

東海道は徳川家康の命によって整備が本格化された街道の一つで、神奈川県内にある宿場は9つ。御宿場印を集めながら9宿をめぐる、有名な『東海道五十三次』で描かれた風景と現在の景色を見比べてみよう。近隣の駐車場に停めて、散歩しながらフォトめぐりを楽しんで。

御宿場印を集めよう!

東海道の全宿場で御宿場印を販売中! 御宿場印を集めて旅の思い出に。

販売場所は
こちら



箱根宿



街道一の難所として知られ、雨が降ると道が悪くなるため石畳が敷かれた。江戸に最も近い関所を構えるなど、重要な防衛線の役割も。浮世絵では大胆な構図になっているが、芦ノ湖からの景色にその面影がある。晴れた日には遠くに富士山が望める。

小田原宿をもっと知りたいなら

小田原なりわい交流館

観光案内や無料のお休み処がある。街かど博物館や市内の名所旧跡などの案内やパンフレットの配布も。

📍: 近隣に有料駐車場あり
住: 小田原市本町 3-6-23
☎: 0465-20-0515
営: 4~10月 10:00~19:00、
11~3月 10:00~18:00
休: 12月31日 ※そのほか臨時休館あり



大磯宿



江戸時代から名所が多い宿場町で、由緒ある寺社や庵、著名人の旧宅などが残る。道中のいたるところで松並木が見られ、東海道の雰囲気を楽しめるのも特徴の一つ。国道1号から旧街道に入ると松並木があり、江戸の風景を思い起こさせてくれる。

平塚宿

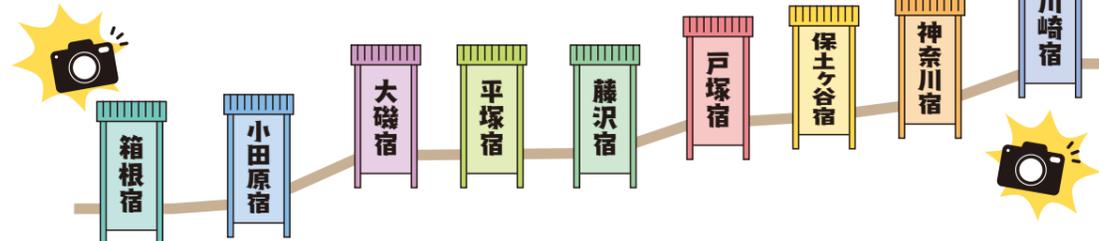


八王子道や大山への道との分岐点にあり、古くから物資や人の交流が盛んで交通の要で街道沿いは活気にあふれていたそう。現在、道はまっすぐに整備されたが、遠くに見える高麗山は当時のまま。当時の旅人になった気分でドライブを楽しもう。

神奈川宿



神奈川湊を見下ろす高台にあり、東海道有数の景勝地として知られる袖ヶ浦があった宿。現在の台町は海が埋め立てられて景勝地とは異なるが、当時は茶屋町として有名。浮世絵に描かれている「さくらや」は料亭中家として現在も営業を続けている。



小田原宿



江戸時代には城下町であり、東海道屈指の宿場町として栄えた。小田原城や板橋の旧道などの貴重な史跡や江戸期から続く老舗も多く残っている。酒匂川には現在橋が架けられていて、遠くに見える箱根の連山を当時と同じように眺めることができる。

戸塚宿



江戸時代は夜明け前に日本橋を出発し、1日歩いてここで宿をとるのが定番。大山道・鎌倉往還との分岐点でもあり、当時は大変にぎわっていた。浮世絵に描かれている橋は現在の大橋で、橋のたもとに広重の絵が埋め込まれている。

川崎宿



川崎大師信仰とともに栄えて旅人や多くの参拝客でにぎわった川崎宿。かつて六郷の渡しといわれた場所に、今は新六郷橋がかけられている。浮世絵にあるような家並みは、今は近代的なビル群になり、見える景色が大きく変化した。

川崎宿をもっと知りたいなら

東海道かわさき宿交流館

東海道にまつわる模型や映像を数多く展示し、川崎宿の歴史や文化を楽しみながら学べる。

📍: 近隣に有料駐車場あり
住: 川崎市川崎区本町 1-8-4
☎: 044-280-7321
営: 9:00~17:00
(物販コーナーは16:30まで)
休: 月曜日(休日の場合は翌日)、年末年始



保土ヶ谷宿



江戸を出て最初の難所といわれた権太坂の手前にあり、旅人の多くはこの宿で休息してから坂越えに挑んだと言われていた。浮世絵に描かれた帷子川は昭和の改修工事で大きく川筋を変え、旧帷子橋の跡地の公園に帷子橋が再現されている。

藤沢宿



東海道、大山道、江の島道、八王子道などが集まる宿場町で、古くから遊行寺の門前として栄えた歴史をもち、今も多くの史跡がある。浮世絵に描かれているのは境川にかかった遊行寺橋で、現在は周囲に建物が立ち並んでいるため当時の面影は少ない。

藤沢宿をもっと知りたいなら

ふじさわ宿交流館

旧東海道藤沢宿の歴史や文化などと触れ合う場を提供。東海道五十三次や藤沢宿に関する資料が展示されている。

📍: 近隣に有料駐車場あり
住: 藤沢市西富 1-3-3
☎: 0466-55-2255
営: 4~9月 9:00~18:00、10~3月 9:00~17:00
休: 月曜日(休日の場合は翌日)、年末年始

